

大学研究室訪問

財団法人ひろしま産業振興機構
東広島市産学官連携推進協議会

- 目的 大学の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため、研究室を訪問し、意見交換を行う。
- 開催日時 平成20年9月17日（水）13:30～15:30
- 開催場所 広島国際大学 心理科学部 感性デザイン学科
（〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36）
- 訪問研究室 石原 茂和 教授
- 専門分野 感性工学・人間工学
- 研究内容

安全、使いやすさのために商品や環境を改善する人間工学、さらに消費者の感性にフィットする商品を開発するための感性工学、この2つは、ありとあらゆる分野で成功する商品開発の両輪の技術です。最近ではまとめて、感性人間工学と言っています。感性人間工学によって開発された商品と、そこで用いられた心理学測定、人間工学測定と分析方法について、実験室で紹介し、地元の産業に役に立てればと思います。また、この方法論は福祉機器、ユニバーサルデザインへもつながっています。

(1) 感性人間工学に関する研究

感性工学・人間工学の応用事例、三洋電機の電気シェーバー、洗濯乾燥機、松下電工のトイレ、ミルボンのシャンプー・ヘアトリートメントのパッケージデザインなどの商品化された実例をメインに解説します

《特徴・想定される用途等》

よろず人間が使う機器類全般に応用可能です。電気電子機器、乗用車、生活機器の企画・設計・検証プロセスに関連します。

(2) 福祉機器、ユニバーサルデザインに関する研究

車いすでの移動中には、身体が揺れて文字通り気分がわるくなります。身体のさまざまな動きの3次元測定、筋電図測定、筋骨格モデルによる負荷推定などについて解説します。

《特徴・想定される用途等》

機器の使用時の身体負荷の軽減、工場生産現場での身体負荷測定と軽減、労働安全衛生規格OHSAS18000対応